

## 性の多様性を尊重する社会の構築へ!

埼玉県議会では、令和4年6月定例会にて議員提案による「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が成立しました。

LGBTQ(性的マイノリティー)の方の多くは、周囲からの差別や偏見を恐れ、当事者であることを隠して生活されており、見えないマイノリティーと言われます。

条例の成立を機に、全ての人がある場において性の多様性を尊重され、安心して生活できるように、理解の増進や相談体制の整備および暮らしやすい環境づくりをめざします。

令和5年度予算には、①理解増進(企業向け研修の実施、理解者拡大に向けた取組、支援者向け講座の実施)、②相談体制の整備(当事者や企業からの相談に対応)、暮らしやすい環境づくり(施策の検討や企業の見える化)が県民生活部の予算に計上されているほか、教育局でも、①外部専門機関と連携した学校相談体制の充実(学校に専門人材を派遣するなどして相談体制を充実させる)、②オンラインサロン・相談会の実施(家庭や学校に打ち明けることが困難な生徒を対象にオンライン上での相談会を開催)といった予算が計上されています。



埼玉県が作成したLGBTQ基礎知識ガイド

## 犬猫の殺処分ゼロをめざしています!

### —令和12年実現へ対策を推進—

埼玉県は令和2年度末に改定した「埼玉県動物愛護管理推進計画」で令和12年度の犬猫の殺処分ゼロをめざしています。令和3年度には、殺処分数が、犬11頭、猫328頭、合計339頭まで削減することができました。

令和5年度は野良猫の繁殖抑制対策や収容された犬猫の譲渡を一層推進するとともに、飼い主への適正飼養に関する啓発や動物取引業者への監視指導を充実させます。具体的には、以下のよう取り組みを進めます。

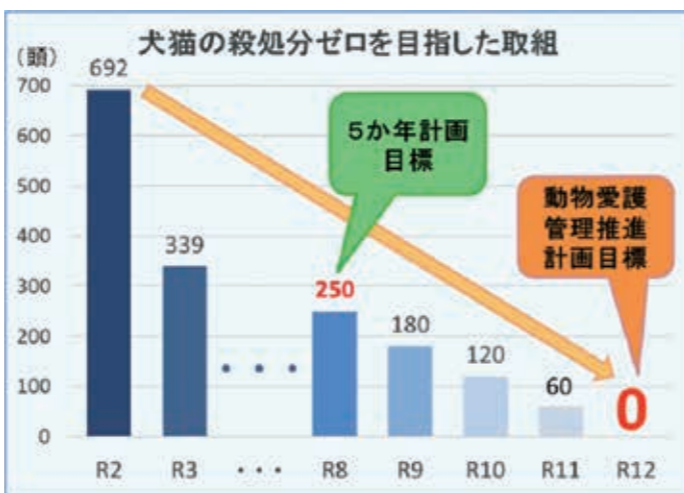
#### (1) 飼い主のいない猫(いわゆる野良猫)の繁殖抑制対策

- 野良猫の不妊・去勢手術費用補助制度を導入する市町村への助成
- 彩の国動物愛護推進員が行う「野良猫の不妊・去勢手術活動」を支援
- 犬猫譲渡事業の拡大

#### (2) 動物指導センター事業運営

#### (3) 動物の正しい飼い方の啓発・指導の充実

平成21年度には5764頭あった殺処分数が、県民の皆様のご協力により、令和2年度には692頭まで減りました。殺処分ゼロを実現するには、猫の殺処分数を減らしていくことが重要です。その実現へしっかり取り組んでまいります。



埼玉県議会議員【川口市選出】

まさゆき

県議会報告

しおの正行

2023.春号

川口市本前川2-21-10  
TEL 048-265-5780

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。  
TEL 048-822-9606  
FAX 048-822-9408  
公明党埼玉県議団ホームページ  
www.komei-saitama.com

## 埼玉県議会 2月定例会が閉会

### ～新年度予算案など審議～

今定例会では、令和5年度埼玉県一般会計予算や令和4年度埼玉県一般会計補正予算などの予算案、埼玉県農業災害対策特別措置条例の一部を改正する条例などの条例案などを審議しました。

成立した新年度予算には、しおの正行議員をはじめとする公明党県議団が求めてきた予算要望事項も数多く盛り込まれています。

具体的には、▽高齢者の交通安全対策の推進▽性の多様性を尊重する社会づくりの推進▽子育て家庭への支援・孤育て防止の推進▽介護人材の確保・定着の促進▽認知症施策の総合的な推進▽医療的ケア児やケアラーへの支援▽医師確保対策の推進▽難病患者への支援▽県制度融資の拡充▽犬猫の殺処分ゼロへの取り組み強化▽奨学金の返還支援の推進▽特別支援学校の教室不足対策の拡充など。



## 物価高・子育て・福祉・教育・経済対策 全力で動きます!

### しおの正行が実現

#### 医療・福祉の充実!

- 24時間365日対応の救急電話相談「#7119」の導入
- 新型コロナウイルス感染症対策の推進
- 高齢者や障がい者のための福祉避難所の増設

#### 安心・安全、住みやすい街づくり!

- 「イナパーク川口」と「めぐりの森(市営火葬場)」の開設
- 「(仮称)川口北警察署」の設置決定(2026年度)
- ホームドアの設置(川口駅・西川口駅・蕨駅)
- 戸塚環境センター前道路(南浦和越谷線)の延伸事業化
- 埼玉県内初・国際規格に準拠した県営水泳場の設置決定(2027年度)

#### 子育てしやすい環境づくり!

- 「パパ・ママ応援ショップ」事業の創設・拡充
- 教室不足の川口特別支援学校に教育棟増築決定
- 中学生までの医療費無料化
- 小中学校の普通教室と中学校体育館へのエアコンの設置

### しおの正行の政策

#### 物価高から暮らしを守る!

- ◆電気・ガス料金の高騰対策の推進
- ◆中小企業の収益改善支援(価格転嫁や下請取引の適正化など)と賃上げできる環境づくり
- ◆県制度融資におけるオンライン申請の導入

#### 全世代の誰もが輝く社会!

- ◆子育て支援の拡充(子ども医療費無料化を高校3年まで拡充、0~2歳児の保育料無償化)
- ◆シニア世代へのさらなる支援(高齢者向けサービスを提供する事業の抜本的拡充)
- ◆多様性を尊重する社会の実現(LGBTQなど)

#### 安心・安全で住みやすい街づくり!

- ◆「選ばれる街」川口のさらなる発展
- ◆JR川口駅へのホーム増設と上野東京ラインの停車(羽田空港へも直結)
- ◆JR東川口駅へのホームドアの早期設置と防風壁の設置

# 令和5年度予算に計上された しおの正行議員と公明党県議団の実績

## 高齢者講習施設の新設

高齢運転者の増加に伴い、高齢者講習などの受講待ち日数が長くなることを見込まれることから、さいたま市岩槻区に高齢者講習施設を新たに設置します。

建設地は旧県立小児医療センター跡地。令和6年5月に開所する予定です。



高齢者講習施設イメージ

## (仮称)川口北警察署の新設

川口市内の治安状況などに的確に対応するため、川口市西立野地内に警察署を新設します。建設場所は戸塚安行駅のすぐ近く。敷地面積6673㎡に4階建て延べ約5000㎡の施設となります。令和5年度には実施設計を行い、同6~8年度に庁舎を建設します。総事業費は約55億円を見込んでいます。



## 若者人材の県内企業への就職と定着の支援

若者が自らの望むキャリアを形成して安定した生活を送るとともに、県内中小企業の人材確保・定着を支援します。

具体的には、県内大学生などの県内企業への就職促進(ジョブフェス埼玉の開催など)や就職氷河期世代の正社員化の支援(求職者・企業双方への支援)、従業員の奨学金返還支援を行う企業への助成を行います。

奨学金の返還支援では、従業員の奨学金返還支援を行っている県内に事業所がある中小企業に対し、企業負担額の2分の1以内(1人当たり上限額年間9万円)を助成します。



## 中小企業の資金繰り支援(県制度融資の拡充)

ゼロゼロ融資の無利子期間終了に伴う借換需要に対応するため、伴走支援型経営改善資金の融資枠を200億円から1000億円に拡充するとともに、利子補給率を0.2%引き上げ、事業者負担を軽減します。

また、設備投資促進資金における「カーボンニュートラル」の要件に「サーキュラーエコノミー」の取り組みを追加、産業創造資金に「BCP策定企業」の要件を創設、ポストコロナに向けた資金繰りを支援します。

## 電動車(EV・PHV)の導入支援

電動車(EV・PHV)導入に対する支援を行います。補助上限額はEVが40万円(軽EVおよびPHVは27万5000円)または国の補助額の2分の1のどちらか低い額。

事業者が外部給電器を導入する際にも補助します。補助上限額は25万円または国の補助額の2分の1のどちらか低い額となります。脱炭素化を推進し温室効果ガスの削減をめざします。



## 福祉避難所に直接避難できる体制の整備

災害時に一時避難所では対応が難しい障がい者・高齢者などの要配慮者が、個別避難計画に基づき安全・安心に福祉避難所に直接避難できる体制を整備します。

令和4年度にモデル市町で作成した動画マニュアルなどを県内市町村に横展開することで、福祉避難所に直接避難できるようにします。また、福祉避難所の開設・運営訓練なども実施することで、災害時、障がい者や高齢者の命を守ります。

## 医療的ケア児等支援センターの設置

埼玉県医療的ケア児等支援センターを設置するとともに、地域センターも県内に複数設置します。在宅の医療的ケア児等とその家族が日常生活や社会生活を安心して営むことができるよう支援します。

県センターでは、地域センターの取り組みや情報を集約するとともに、人材育成、支援体制の整備、多機関調整を行い、県全体の支援体制を構築します。地域センターでは、本人や家族への個別支援、市町村や事業所など関係機関への支援などを行います。



## 難病患者の利便性の向上

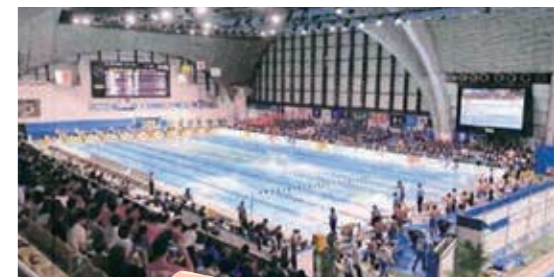
各保健所で行っていた指定難病継続申請の受付業務を一元化、申請者からの問い合わせ対応などを行うコールセンターも設置します。これにより、受給者証の早期発行など利便性の向上を図ります。

コールセンターでは、問い合わせ対応の他、申請者への書類不備などの確認連絡を行います。また、県民のライフスタイルの多様化にあわせ、午後8時まで対応が可能な体制を構築します。

## 屋内50m水泳場の整備

県内初の県営屋内50m水泳場を整備し、競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、競泳の普及振興を図ります。また、誰もが水に親しむ環境を創出し、県民の健康増進を図ります。

総事業費は約210億円(整備、運営・維持管理含む)。令和5年度中に入札公告と事業者との契約に向けて、屋内50mプールの整備、運営・維持管理に係る債務負担行為(期間は令和23年度まで)を設定。令和9年度の開設を予定しています。



大会開催時のイメージ



## 川口特別支援学校の校舎増築

川口特別支援学校の教室不足を解消するため、校舎の増築および備品などの整備を行います。

2棟の校舎を増築し、定員が174名程度増えることとなります。供用開始は令和8年4月(1期)および令和10年4月(2期)。

令和5年度には実施設計および車庫とプールの解体を行い、令和6年度から校舎の増築に着手、2期に分けて建設を進めます。特別支援教育のさらなる充実をめざしてまいります。

## 特別支援学校における医療的ケア児体制の強化

医療的ケア児が学校で安全かつ安心して学習できるよう体制の強化を図ります。保護者の経済的負担の軽減や看護師の配置などを行います。

具体的には、医療的ケア児の通学時の保護者の負担を軽減するため、福祉タクシーを利用する場合に、同乗する看護師の費用について、ニーズを踏まえた適切な支援を行います。

また、通学支援における協力体制を構築するため、学校、医療関係者、福祉タクシー事業者などによる協議会を設置、課題の解決策などを検討するほか、看護師の確保については、令和5年度にモデル校で効果検証を行います。

